



COVID-19 学校図書館支援プログラム

株式会社カーリル

Version 2.0, 2020-11-17

プログラムの概要

- インターネットからの蔵書検索と、申し込みを受け付けるための簡易的な仕組みを提供します
- 蔵書情報が外部と共有（公開）されることはありません
- 規模や利用形態にかかわらず、無償でご利用いただけます
- COVID-19に対応するための柔軟なサービス展開を支援します



提供期間

2020年5月～（少なくとも2022年7月末→2024年3月末までは安定的にサービスを継続する）

図書館側で必要となる対応

- ISBNを含むテキストファイル（CSV）、または書誌を含むExcel形式（xlsx）の提供
- 予約受付フォームの設定（検索のみの場合は不要）
フォームに書名、著者名、ISBNなど必要な項目をつくることで書誌情報を自動入力できます

申し込み方法

以下の事項をまとめて contact@calil.jp まで送信してください。3営業日以内にカーリルから蔵書検索URLを発行します。なおタイトルや説明文はサービス開始後に変更することもできます。

- 学校名
- 担当者とメールアドレス
- 予約連携の有無（予約連携する場合はフォームのURL）
- 蔵書データ（添付ファイル）
- 検索画面のタイトル「例:カーリル高校の蔵書検索」
- トップページの説明文（200文字程度まで・なしでも可）

技術的な特徴

- ISBNがある場合は、国立国会図書館とNACSIS-CAT（国立情報学研究所）の書誌情報から自動的に書誌情報が補完されます
- 書名・著者名などの項目が提供データに含まれる場合は上記に加え、ISBNのない本も検索対象となります
- カーリルが連携する公開されたWeb-OPACについても検索対象に含めることができます（図書館が提供するサービスにあわせて公立図書館や提携する大学図書館、電子書籍サービスなどの蔵書をあわせて検索することができます）

予約連携について

- 現時点で提供しているのは、書誌単位での予約連携機能です
- カート機能などが必要な場合はお問い合わせください
- 予約連携先としては「Googleフォーム」を推奨しています（受付時の項目は自由に設定ができます）
- 「Googleフォーム」の利用が難しい場合は、希望する方法をお知らせください。

その他の注意点

- 蔵書情報が外部に広く公開されませんが、URLを知っている人はアクセスできるようになります
- ユーザー認証を実施したい場合は希望する方式などについてお知らせください + 「G Suite for Education」とのユーザー認証は連携実績があります
- アクセス数や蔵書数に制限はありません
- 実際に利用するかどうかの判断は、検索サービス立ち上げ後の判断で構いません
- サービスの利用はいつでも中止できます。中止後は、提供いただいた蔵書データを速やかに破棄します
- プライバシーポリシー（別紙）に基づきパーソナルデータは厳重に保護されます。クッキーやGoogle Analyticsなどによるアクセストラッキングは実施しません
- 書影（本の表紙画像）はopenBDプロジェクトおよびGoogle Booksと連携しています
- データ更新は最新データをメールにてお送りいただくことにより実施します（長期的にはアップロード画面を提供予定）
- 以下のURLでデモサイトを公開しています
<https://private.calil.jp/gk-2002000-3xj40/>

よくある質問と回答

1. 生徒や先生のアクセスに限定できますか

発行するURLを限定した利用者にはしか伝えない運用方法を推奨しています。発行したURLはいつでも再発行（変更）することができます

認証方法の希望があれば技術検討が可能ですのでお知らせください

2. アクセスはどこからでも可能ですか

可能です

3. スマートフォンからの利用は可能ですか

可能です

4. 個人情報の取り扱いはどうなりますか

このプログラムでは、申し込みの連携までの対応であり、予約は原則として図書館に直接送信することを想定しています。ただし、サービスの運用にはプライバシーポリシーを適用します

5. 無償期間が終了した後、有償で継続する可能性はありますか

- このプログラムは、カーリルが提供する有償サービスの体験版ではなく、カーリルの技術を迅速なサービス提供に活用することを目的としています。現時点で有償提供の予定はありませんが、図書館システムの開発会社などと連携して、発展的なサービス提供に努めます。
- 公共図書館向けにはカーリルの検索サービスについて有償での契約モデルがあります。こちらをご活用いただくことも可能です。

6. 無償期間終了後はどうなりますか

- 期間はあくまで運用の継続を保証する期間を示したものであり、終了日を示したものではありません。引き続きサービスが必要とされる状況が継続する場合には、プログラムを継続する方針です
- サービスを終了する場合には少なくとも12か月前には告知します

7. ほかの学校のデータと一緒に検索できますか

原則として各学校単位の蔵書検索を提供しますが、地域やグループなどの運用にあわせて横断的な検索サービスの提供も可能ですのでご相談ください

8. 都道府県や団体などによりとりまとめをしてもいいですか

構いません。ご協力いただくことで円滑で迅速なサービス提供が可能となります

9. 予約機能を使わない場合は無効にできますか

可能です

変更履歴

- 2020/05/02 初版制作
- 2020/11/17 提供期間を延長